

製品名: Rad23B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16836**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|----------------------------------------------------|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---------------------------------------------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量 | 58kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 遺伝子名 | RAD23B |
| 別名 | RAD23B; UV excision repair protein RAD23 homolog B; HR23B; hHR23B; XP-C repair-complementing complex 58 kDa protein; p58 |
| 遺伝子 ID | 5887.0 |
| SwissProt ID | P54727 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト RAD23B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50 |

背景

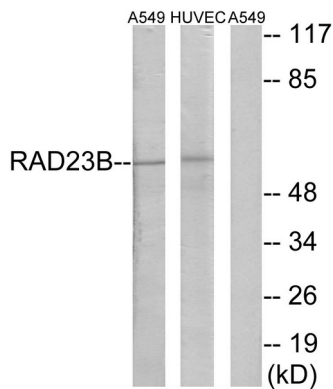
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ヌクレオチド除去修復（NER）に関与するタンパク質であるサッカロミス・セレ

ピシエ (*Saccharomyces cerevisiae*) Rad23 の2つのヒト相同遺伝子のうちの1つです。このタンパク質は、in vitroにおいて、色素性乾皮症C群 (XP-c) 細胞抽出物のNER欠損を特異的に補完するタンパク質複合体の構成要素であることがわかりました。また、このタンパク質は3-メチルアデニン DNAグリコシラーゼ (MPG) と相互作用し、そのヌクレオチド除去活性を亢進させることが示されており、塩基除去修復におけるDNA損傷認識に関与していることが示唆されています。このタンパク質はN末端ユビキチン様ドメインを有し、これが26Sプロテアソームと相互作用することが報告されているため、細胞内でユビキチンを介したタンパク質分解経路に関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq提供、2011年9月],ドメイン: ユビキチン様ドメインはMJDとの相互作用を媒介する。機能: ミスフォールドタンパク質のプロテアソーム分解とDNA修復の両方において中心的な役割を果たす。細胞質へ逆輸送される小胞体中のミスフォールドタンパク質の脱グリコシル化とプロテアソームによる分解を連結するために必要な複合体の中心成分である。XPCタンパク質を安定化させることでDNA除去修復に関与する。DNA損傷の認識、および/または損傷処理酵素がアクセスできるようにクロマチン構造を変化させる役割を果たす可能性がある。類似性: RAD23ファミリーに属する。類似性: 1つのSTI1ドメインを含む。類似性: 1つのユビキチン様ドメインを含む。類似性: 2つのUBAドメインを含む。サブユニット: NGLY1、SAKS1、AMFR、VCP、およびRAD23Bで構成される、逆転写、ユビキチン化、および脱糖化を連結するために必要な複合体の構成要素(類似性による)。26Sプロテアソームと相互作用する。NGLY1と直接相互作用する。125 kDaサブユニット (p125) と58 kDaサブユニット (p58) のヘテロ二量体。MJDおよびXPCと相互作用する。、

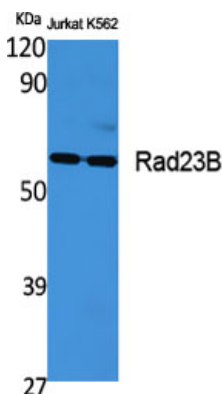
研究分野

ヌクレオチド除去修復;

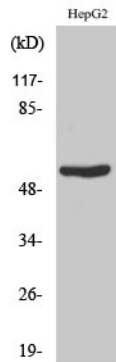
画像データ



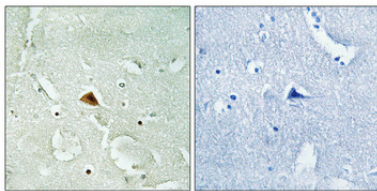
RAD23B抗体を用いたA549細胞およびHUVEC細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



Rad23Bポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



Rad23B ポリクローナル抗体を用いた HuvEc 細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。